

## 2017年度の事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人 京都 DARC

### 1 事業の成果

2017年度は特記事項として、2018年3月に京都市伏見区にグループホーム建設用地を購入した。また、同月、京都府ならびに京都市において、京都 DARC への寄付金が「住民の福祉の増進に寄与する寄付金」として個人住民税の寄付金税額控除の対象となったことにより、認定 NPO 法人の認定基準を満たしたので、認定 NPO 法人格取得の申請を行った。

2017年度は、2016年度に引き続き「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、指定共同生活援助（介護サービス包括型）をネクサス 1,2 にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。2018年3月末の入寮者は8名、デイセンター・マハロへの通所登録者は10名であった。

デイセンター・マハロの回復プログラムとして、農作業等様々な事業を行った。農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作りに9回、山科区で農地をお借りして、野菜作り24回、そして今年度から新たに綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクと玉ねぎの栽培を13回行った。ボランティア活動は、喫茶店等でのボランティアを38回、さらに今年度から、月一回デイセンター近くの公園の掃除ボランティアを始めた。また、東九条春祭り・秋祭りボランティア参加や東九条マダンのお手伝いを通して、地域の方との交流を深めた。

薬物依存症者及びその家族への相談援助事業は薬物依存症者37件、薬物依存症者の家族64件、関係者22件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは117件であった。家族プログラムは12回行い、参加者の平均は8.75名であった。

今年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談“薬物依存 ホットライン”（京都 DARC 内に設置と広報している）では、12件の電話相談があった。京都府薬物依存者に対する移動相談事業として舞鶴医療センターで毎月一回行っているメッセージ・ミーティングには、薬物依存症者・関係機関職員等平均3.6名の参加があった。「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」（明日への扉を今開こう！OPEN）は4月25日に開始し、全16回行った。今年度より、京都市事業「京都市薬物依存症再発防止プログラム」（KEEP）への講師派遣を、全6回行った。さらに、施設内研修を全11回行った。

### 2 事業の実施に関する

#### 事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
⑥ 障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助 (介護サービス包括型) ネクサス1・2運営	365日	ネクサス1・2	5	(平均) 6.4名/日	16,047
	③薬物依存症者への生活支援事業	ネクサス3運営		ネクサス3	3	(平均) 2.4名/日	
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業 ③薬物依存症者への生活支援事業	自立訓練(生活訓練)事業  デイセンター・マハロ運営  ミーティング、レクリエーション、昼食作	月～土 9:30～ 17:00  313日	デイセンター ・マハロ	5	(平均) 9.3名/日	22,817

	の生活支援事業	りなどのプログラム					
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業		書籍販売	随時	京都DARC	2	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	7
②薬物依存症者及びその家族への相談援助事業		薬物依存症者相談	随時	京都DARC	8	37件/年	6,985
		家族・関係者相談	随時	京都DARC	8	64件/年 薬物依存症者家族 22件/年 関係者	
		ホットライン相談	随時	京都DARC	7	5件/年 薬物依存症者 6件/年 薬物依存症者家族 1件/年 関係者	
		インターベンションプログラム	随時	各拘置所・留置施設	7	20件/年	

家族プログラム	12回/年	京都DARC	3	(平均) 8.75名/回 薬物依存症者家族
家族カウンセリング	随時	京都DARC	1	117件/年 (174.5時間)
京都府北部薬物依存症者に対する移動相談	12回/年	舞鶴医療センター	7	(平均) 3.6名/回 薬物依存症者・関係機関職員等
刑務所等における薬物離脱教育指導講師派遣	111回/年	各刑務所・拘置所	6	薬物依存症者
更生保護施設盟親健康学習会講師派遣	7回/年	更生保護施設盟親	2	(平均) 8名/回
OPEN「若年者向け薬物乱用防止プログラム」講師派遣	16回/年	龍谷大学矯正・保護総合センター	2	(平均) 2.4名/回

	KEEP 「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	6回/年	京都市こころの健康増進センター	2	薬物依存症患者
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	ニュースレター発行	6回/年	京都DARC	4	2000部/回
	フォーラム開催	1回/年	京都府内	15	200名以上
	各種研修会等講師派遣 (関係者・PTA・福祉等)	7回/年	全国	6	100名/回
	学校・高校・大学への講師派遣	10回/年	関西圏各学校	6	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約150名/回
	他機関との協力・連携 (市こころの健康増進センター・府精神保健総合センター)	4回/年	府・市のセンター	4	薬物依存症患者、関係機関職員

⑤薬物依存者の社会復帰促進事業	喫茶店等でのボランティア	38回/年	バザールカフェ	2	(平均) 3名/回
	地域でのボランティア	随時	京都市	7	利用者
	就労相談	随時	京都DARC	6	利用者
	研修会参加	12回/年	全国	7	利用者
	農作業体験	24回/年	山科区	4	(平均) 5名/回
		9回/年	亀岡市	4	(平均) 4名/回
⑦その他のこの法人の目的を達成するために必要な事業	施設内研修	11回/年	京都DARC	3	(平均) 7名/回 職員、関係者
	施設外研修	5回/年	全国	7	(平均) 3名/回 職員、関係者
		13回/年	綴喜郡井手町	4	(平均) 11名/回

(2) その他の事業 当該事業年度は実施しなかった。